

Q9 <流れ図⑤> 中心的な課題から、どのように指導目標を設定しますか。



特別支援学級担任

指導目標はどのくらい先を見通して考えたらいいのでしょうか。



通級指導教室担当

指導目標は、どの程度具体的にしますか。



特別支援学級担任

実態をもとに目標や内容を考えていますが、指導していることが本当にその子に合っているのか…。

A 中心的な課題を改善した姿はどのような姿であるかを想定し、長期的な目標と当面の短期的な目標を設定します。

長期的な目標と短期的な目標の設定時期は、次の2パターンが考えられます。各学校で、目標設定のスパンをどのようにするか、考えておく必要があります。

	長期的な目標	短期的な目標
A	1年後(学年末時の姿)	学期ごと(各学期末の姿)
B	3年後(小3終了時や卒業時の姿)	1年後(学年末時の姿)

また、目標は評価できるように、具体的な児童生徒の到達像で記述します。①どんな場面(状況)で、②教師の支援はどの程度で、③どのような補(自)助具等を使い、④児童生徒は何ができているのか、①～④を具体的に描いて、記述しましょう。

また、目標を設定するに当たっては、困難の背景の原因を考えると、将来の可能性を見通すことが大切です。児童生徒の将来の可能性を限定的に捉えるのではなく、技術革新や社会の発展も考慮し、長期的な観点から考えましょう。

下記に、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編 P156～159 に示されている、読み書き障がいの生徒の例を基に、長期的な目標と短期的な目標を示しました。

【長期的な目標(学年末時)】

- ・英語を中心とした学習上の困難を改善・克服するための方法を知り、その方法を用いて、他の生徒の平均と同じ程度の時間で読み書きができる。
- ・自分が提供されている合理的配慮の必要性を、質問された時に説明することができる。

【短期的な目標(1学期末時)】※長期的な目標を基に、1学期末までの目標を例示しています。

- ・英文や教科書等を読む時、タブレット端末を使って、一行ずつ出したり、文字を拡大したりして、読む。
- ・タブレット端末の便利さが分かり、読む際に使おうとする。
- ・読解の情報処理過程の概略を理解し、自分がなぜ読みに困難があるのかが分かる。

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編のP.109(最後の1行)～110に、詳しく解説されています。

[文部科学省
「特別支援学校教育要領・学習
指導要領解説自立活動編」](#)

